

誰もがありのまま 生きうねるよるに

～性のあり方は十人十色です～

私たちの中には、身体の性と心の性が一致しない人や同性を好きになる人がいます。性のあり方について、皆さんが考える「当たり前」は、誰かにとっては「当たり前ではない」かもしれません。お互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会にしていけるため、多様な性のあり方について紹介します。
個人権・広聴相談課 94-4716

世の中には、男と女しかいない — 本当に、そうですか？

どんな自分でありたいか、どんな人を好きになるかは人それぞれです。異性を好きになる人もいれば、同性を好きになる人もいます。私たちは男か女に二分されるべき存在ではなく、自分の性をどう認識するか、どんな風に恋愛感情を抱くかは人によって異なります。

社会にはいろいろな人が生きていて、誰もが少しずつ違います。さまざまな要素の組み合わせで性は成り立っています。かつて、小学生のランドセルは「男の子は黒、女の子は赤」という固定観念がありました。男の子でも赤を好んだり、女の子でも黒を好んだり個人で「好み」があります。同じように、性に関しても「男性／女性」と明確に線引きできるものではなく、また、決めつけてよいものでもありません。多様な性のあり方が存在することは、グラデーション*という言葉で表現されることもあります。

*明かさや色、濃淡などが段階的に変化し、境目を決めることができない状態

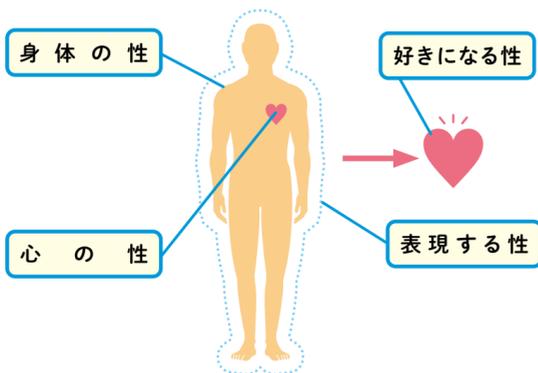


何色のランドセルが好きですか？

四つの性のあり方

主に4つの要素の組み合わせから、「性のあり方」はできていると考えられています。

- 身体の性** 生物学的に持っている体の特徴が男性か、女性か
- 心の性** 「自分は男だ／女だ」など個人が自認する性別(性自認)◇男女どちらでもある、いずれでもない場合もある
- 好きになる性** 恋愛感情や性的欲求が主にどの性別に向いているか示すもの(性的指向)
- 表現する性** 言葉遣いやしぐさ、服装など個人が表現する性



LGBTって何？

性のあり方は「セクシュアリティ」ともいいます。セクシュアリティが少数派の人たちを、セクシュアルマイノリティ(性的少数者)と呼びます。LGBTとは4つの単語の頭文字をとった総称です。

- L Lesbian(レズビアン)** 同性を好きになる女性◇心の性が女性で、好きになる性が女性
- G Gay(ゲイ)** 同性を好きになる男性◇心の性が男性で、好きになる性が男性
- B Bisexual(バイセクシュアル)** 両方の性を好きになる人◇好きになる性が異性・同性の両方
- T Transgender(トランスジェンダー)** 身体の性と、自認する心の性が異なる人◇心と体の性の不一致

「いない」のではなく「見えていない」だけ

近年は、LGBTをはじめ、性の多様性に関する情報に触れる機会が多くなりました。しかし、身近にセクシュアルマイノリティはいないと決めつけていません。

電通ダイバーシティラボが行ったLGBT調査2020によれば、日本の人口の8.9%がセクシュアルマイノリティとされており、その内訳は、L=1.33%、G=1.94%、B=2.94%、T=0.64%、その他が2.05%です。11人に1人いるということになり、これは左利きの人とほぼ同じ割合です。

LGBTだけじゃありません

セクシュアリティは非常に多様です。

- Asexual(アセクシュアル)** 誰にも恋愛感情や性的欲求を抱くことがない人
- Questioning(クエスチョニング)** 性のあり方が自分でもよく分からない、決めたくない人
- Xgender(エックスジェンダー)** 自分を男性・女性のいずれかとは認識していない人

SOGIは全ての人に関係すること

全ての人の性のあり方を表現した言葉です。性のあり方を考える4つの要素のうち、性的指向(Sexual Orientation)と、性自認(Gender Identity)を略したものです。性表現(Gender Expression)を含めSOGIEと呼ぶこともあります。

セクシュアルマイノリティとそうでない人にははっきりとした境界はありません。性の多様性は、多数派の人を意味する「セクシュアルマジョリティ」にも当てはまります。性別に違和感がなく、異性に対して恋愛感情を持つ人も、性のあり方の一つです。

相手を思いやる気持ちをもちましょう

日常の何気ない言葉が誰かを傷つけているかもしれません。普段から性別を決め付けるような言葉を使わないように意識してみましょう。

まだ彼氏／彼女いないの？なんで結婚しないの？

男女の区分や異性愛を当然と考えたり、誰もが結婚や子育てをすべきと考えたりしてはいませんか◇恋人やパートナーといった表現を使ってみてはいかがでしょうか

あの人、レズらしいよ

レズやホモ、おかまなどは差別的用語です。性のあり方を理由に、からかったり無視したりしてはいけません◇見た目やしぐさ、言葉遣いで「男／女っぽい」と言うことも再考しましょう

男なのに、こんなこともできないの？

男らしさ、女らしさについて強要することは相手を否定することにつながります。

女性らしい格好ができないなら、解雇するよ

セクシュアルマイノリティであることを理由に異動や解雇を強制したり、接客を拒否したりすることは不当な行為です。戸籍の性別と見た目が異なることで就職が不利になることもあってはいけません。



NPO法人SHIP 代表 星野 慎二さん

誤解しないでセクシュアルマイノリティのこと

市内在住・在勤・在学の人を対象に「性の多様性に関わるWebアンケート」を実施しました(令和2年10月14日～11月9日)。自由意見で寄せられた疑問点について、セクシュアルマイノリティのコミュニティ支援やカウンセリング、講演会などで活動している星野さんに答えていただきました。

Q1 同性愛は治療できますか

少数派というだけで治療の対象ではありません。性的指向は自分や他人によって変えられるものではなく、変える必要もありません。かつて医学会で同性愛は異常な性欲といった考え方がされていましたが、1990(平成2)年に世界保健機関(WHO)が「同性愛はいかなる意味でも治療の対象とはならない」と宣言して以来、国もこれを公式基準として採用しています。

Q2 同性婚が増えると少子化につながるのでは

仮に国が同性婚を認めても、異性愛者の人たちが従来どおり結婚することには変わりはありません。セクシュアルマイノリティの人は、昔から一定の割合で存在しており、公にしていなくても大丈夫です。

同性婚が認められることによって、同性愛者の人が増えることはありませんし、異性カップルの間に誕生する子どもの数が減るとは考えられません。

Q3 LGBTの人はどんなことに困っていますか

思春期に性的指向や性自認が他の人と違うことに戸惑いを感じますが、そのことを身近な人に相談ができず悩んでいます。最近ではテレビや雑誌などで取り上げられることが増えてきたので世間にも認知されてきていると感じ、カミングアウトする人もいますが、実際に理解がある人は少なく、いじめや差別、アウティングが起こることもあります。

Q4 当事者以外の人にはできることはありますか

ホモフォビア*は日常の差別的な発言により強

まっていますので、普段の生活の中で多様な性のあり方があるということを認識し、否定的な言動を避ける必要があります。

*同性愛に対し非合理的な嫌悪などの否定的な感情を持つこと

Q5 ありのままに生きていくためには

カナダでは15年以上前から同性婚の制度がありますが、未だに差別などがあり、すぐには受け入れられていないのが現状です。また、年齢が高くなるほど固定観念にとらわれ、理解が得られない傾向があります。

幼少期から正しい理解を得られるように、行政や学校、家庭内で話題としてもらうことで、一人でも多くの理解者を増やすことが必要だと思います。

パートナーシップ制度について

自治体がセクシュアルマイノリティの人や事実婚の人など、同性や異性を問わずお互いを人生のパートナーであることを承認し、証明書を発行することで、医療機関などで家族として扱ってもらえるなどの一定の権利を認める制度です。市が行ったアンケートにおいて、「同性パートナーシップの関係にあることの証明書の交付や宣誓の取り組みを本市でも実施する必要があるか」との問いに対し、64%が「必要」、12%が「必要ない」と回答しました(「分からない」が20%、「その他」が4%)。市では、パートナーシップ制度の導入について、引き続きさまざまな観点から検討を進めていきます。

悩みを抱え込まないで —相談窓口—

性的指向や性自認を理由に差別やいじめを受けているなど、困っていることがあったら、一人で悩まずにご相談ください。

●性的マイノリティ派遣型個別専門相談「かながわSOGI派遣相談」 ☎045-210-3637

受付日時 平日の午前8時30分～午後5時15分(年末年始を除く)

※電話申し込みの後、県内公共施設で対面相談

●みんなの人権110番(全国共通人権相談ダイヤル) ☎0570-003-110

相談日時 平日の午前8時30分～午後5時15分(年末年始を除く)

●インターネット人権相談受付窓口

詳しくは法務省のホームページ、または右のQRコードからご確認ください。

●県精神保健福祉センター ところの電話相談 ☎0120-821-606

相談日時 平日の午前9時～午後9時(年末年始を除く、受付は午後8時45分まで)

●かながわ子ども・若者総合相談センター ☎045-242-8201

相談日時 午前9時～正午、午後1時～4時(月曜日、年末年始を除く)

●県立総合教育センター ☎0466-81-0185

相談日時 午前8時30分～午後9時(年末年始を除く。土・日曜日、祝日は午後5時15分まで)

カミングアウトとアウティングを知る

カミングアウト

これまで秘密にしていたこと(セクシュアルマイノリティであることなど)を打ち明けることです。より深い関係を構築したいという思いがカミングアウトにつながります。

友人や家族などからカミングアウトされた場合

自分を信頼して打ち明けてくれたことをよく考え、以下の点を心がけましょう。
◇最後まできちんと話を聞く
◇「話してくれてありがとう」と伝える
◇「どうして伝えてくれたのか」「何に困っているか」を聞く

アウティング

カミングアウトされた人が、本人の許可なく第三者に話してしまうことです。アウティングにより、他の人から差別を受けたり、からかいの対象になったりする場合があります。カミングアウトされた人は、他に誰が知っているのか、誰に話してもいいのかを本人に確認し、それ以外の人には話さないことが大切です。

プライバシーを侵害する重大な問題です

知人や友人であったり、本人のSNSなどに記述があったりしても、無断で公言・紹介してはいけません。

多様性が認められる社会へ

自分を偽らず、周囲の偏見を恐れず、ありのままに生きようとすることは並大抵のことではありません。それを受け入れる側も覚悟が必要です。しかし、自分とは違う生き方の人に出会い、さまざまな価値観に触れて互いを認め合うとき、人生がもっと豊かになるのではないのでしょうか。

皆さんの周りにも、セクシュアルマイノリティの人が必ずいます。その人は家族や友人かもしれないし、同じ職場で働く仲間かもしれません。「誰かが」違うのではなく、「誰もが」少しずつ違っていることを認め、誰もが自分らしく生きていくことが求められています。

